

# Python講座最終プレゼン

PY-FND2

04\_Ryo\_Shimizu\_ac

## 【背景】

日々のデータ整理・解析をする上で、  
実験装置から出てくる多数のデータの整理に苦しんでいたことと、  
周囲のメンバーも同様に苦しんでいるので、今回の講座を通じて改善のきっかけを得られればと思い受講した。

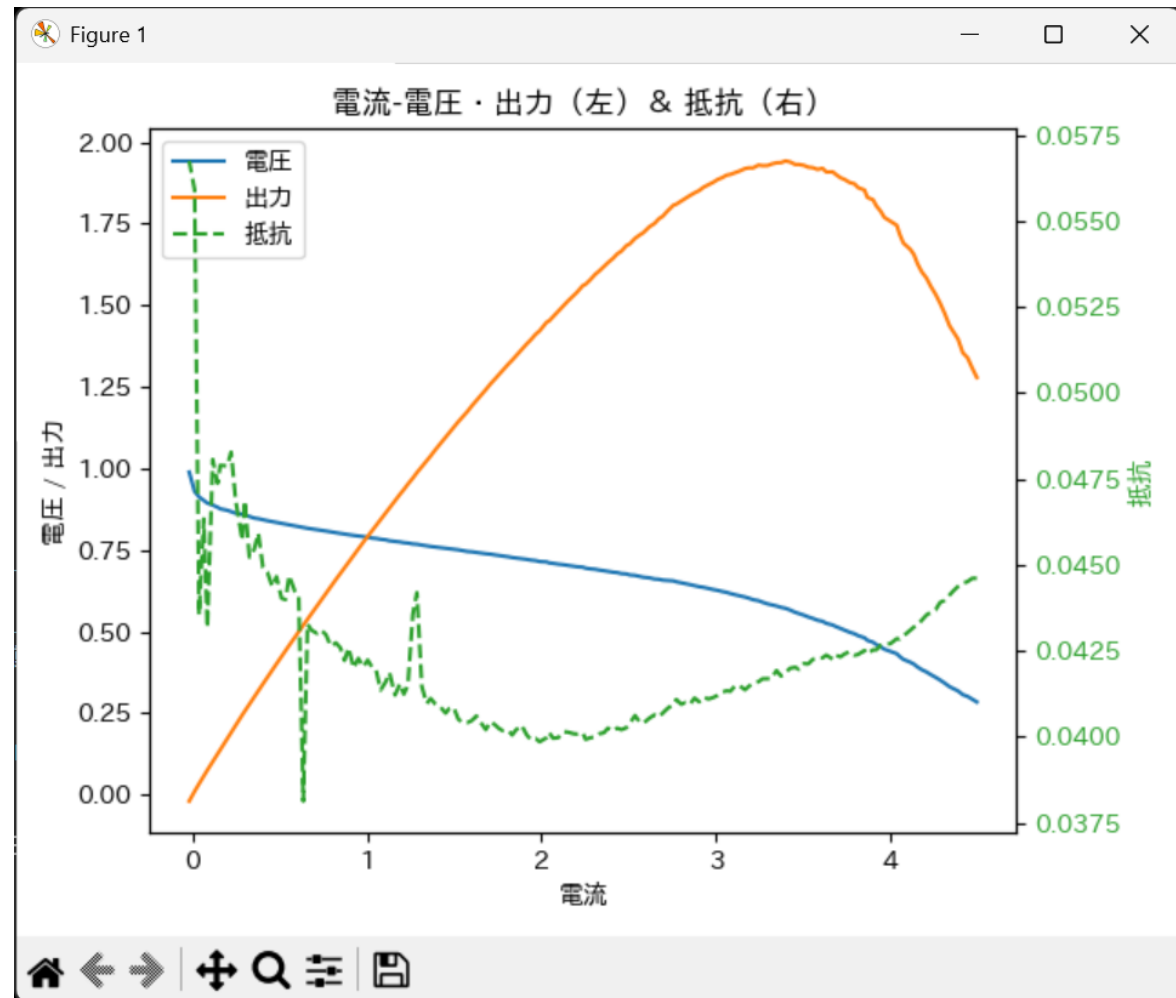
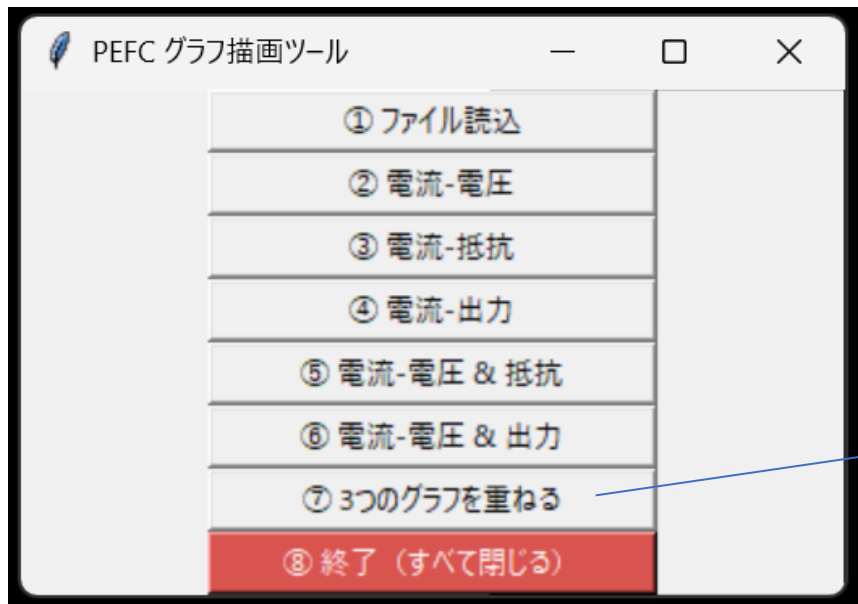
## 【目標】

- Pythonを足掛かりにプログラミング言語の可読性を向上させること
- Pythonで機械学習を行っていくための基礎を身に付けること

装置から出力される生データから、各種グラフを作るツール

## 【意識したこと】

- #使用する生データファイルを任意に選択できること
- #ボタン選択でどのグラフを描画するか選択できること



## 【改善点】

- 複数データを読み込む
- 予期せぬ動作に対してエラーメッセージを表示する
- Excelで描画しやすいグラフだけではなく、Pythonを使うことで視覚化が容易になるグラフを描画する

## 【今後の使い方】

グラフの描画形式を操り、感度の良い切り口を探しやすくする  
さまざまなメーカーの装置から出てくる同様の生データを加工し、データ蓄積できる前処理をし、  
そのデータをもとに機械学習を行い、これまでに確認できていなかった傾向などを把握していきたい

## 【講座の感想】

これまで本を読んでわかっているつもりになっていたことを痛感しました。  
やはり、自分で考えてコードを書くという作業が重要なんだなと再認識できました。  
今後もコーディングを続けていきたいと思います。ありがとうございました！  
メンバーの皆さんと巡り合えて良かったです。どこかでお会いできるのを楽しみにしています！